

2025 年度 一般社団法人日本社会福祉学会定時社員総会 報告

第9期総務担当理事 金子 充(明治学院大学)

一般社団法人日本社会福祉学会2025年度定時社員総会は、2025年5月25日(日)10時から、立教大学池袋キャンパス7号館A棟7101教室にて開催された。

議案はすべて承認され、11時10分に解散した。

I. 会長挨拶

一般社団法人日本社会福祉学会和気純子会長より開会挨拶があった。

II. 定足数確認

総務担当理事より、社員160名で定足数81名に対して、現在の社員出席者が141名(委任社員103名を含む)となったことから、定款第31条ならびに定款第32条に基づき、2025年度定時社員総会を開催し、和気会長が議長となり議事を進行するとの開会宣言があった。

III. 議事録署名人の選出について

定款第37条第2項に基づき、議事録署名人として岡部卓監事、金子光一副会長を選出した。

IV. 議事

第1号議案: (一社) 日本社会福祉学会2024年度事業報告・決算・監査報告について

議長から、2025年4月25日に大島巖監事、岡部卓監事により監査が行われた「2024年度事業報告及び決算・監査報告」について審議していただきたいとの趣旨説明があった。

まず2024年度の事業報告について、総務担当理事より配付資料に基づき報告があった。学術研究集会の開催、学会機関誌の刊行、研究奨励・研究業績の表彰、関連学術団体との連携、国際的な研究活動の推進の報告があった。また、学会の組織運営に関して、会員の動向、総会・理事会及び運営委員会の開催、監査、各種委員会の活動、各地域ブロックの活動状況の報告があった。

引き続いて、杉山博昭財務担当理事より、2024年度の学会本部事業、全国大会運営事業、出版事業、及び各地域ブロックの財務状況を含めた決算報告について、配付資料に基づき報告があった。

その後、岡部監事より、学会業務及び経理に関わる監査報告があり、適正に業務の遂行及び予算の執行がなされているとの報告があった。

審議の結果、一般社団法人日本社会福祉学会2024年度事業報告及び決算・監査報告が賛成多数により承認された。

第2号議案: (一社) 日本社会福祉学会理事の交代について

議長からの趣旨説明に続いて、総務担当理事より、下記の通り関東地域ブロック担当理事交代について提議された。

1. 木下大生氏の理事辞任
2. 後任理事として荒井浩道氏(候補者)の選任

審議の結果、関東地域ブロック担当理事の交代について、賛成多数により承認された。なお、定款第21条に基づき、木下理事は本日をもって辞任し、荒井氏の任期は残任期間である2026年度定時社員総会の終結の時までとなる。

第3号議案：（一社）日本社会福祉学会2025年度事業計画及び当初予算について

議長からの趣旨説明に続いて、総務担当理事より2025年度事業計画の説明があり、その内容に基づいて杉山財務担当理事より当初予算の説明があった。2024年度で5年間の特定資産事業が一区切りとなり、理事会で審議した結果、2025年度よりさらに5年間「特定資産」を設けることとした。①学会活性化事業、②学会資料アーカイブ化事業、③研究者支援事業、④国際学術交流事業、⑤デジタル化推進事業の5つの事業を対象に毎年400万円を割り当て、実施していく予定である。それ以外は概ね2024年度を踏襲した事業計画及び当初予算を作成していることを確認した。

審議の結果、2025年度事業計画及び当初予算が賛成多数により承認された。

第4号議案：名誉会員の推挙について

議長より、2025年3月2日開催の理事会にて、定款第6条ならびに一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程に基づき、本会の発展に多大なる貢献をされた上野谷加代子会員を名誉会員として推挙することが承認されたとの趣旨説明があった。

審議の結果、名誉会員への就任が満場一致で承認された。

第5号議案：その他

特になし。

V. 報告

1. その他

特になし。

議長より、新たに名誉会員となられた上野谷加代子名誉会員への祝辞および表彰楯の贈呈があった。次いで、上野谷加代子名誉会員よりご挨拶を頂戴した。出席者より新名誉会員へ盛大な拍手が贈られた。

議長は、議事終了の旨を告げ、11時10分 2025年度定時社員総会を解散した。

以上